



# 小田原男声合唱团

## 第41回定期演奏会



2012.11.10(土) 午後2:15 開場 午後3:00 開演  
小田原市民会館大ホ一儿

主催 小田原男声合唱团  
後援 小田原市教育委員会  
日本男声合唱協会 (JAMCA)  
神奈川男声合唱協会 (KAMCA)  
湘南合唱連盟  
小田原地区合唱連盟  
小田原音楽連盟



ごあいさつ

小田原男声合唱団  
団長 斎藤 恵司



本日はお忙しい中を第41回定期演奏会にご来場いただき、本当にありがとうございます。今年から新たに50周年という大きな目標への私たち小田原男声合唱団は、昨年創立40周年の節目を迎え、今年から新たに50周年という大きな目標へのスタートを切りました。昨年の記念定期演奏会には委嘱作品の初演を2ステージ企画しました。今回の演奏会は「これまでの委嘱作品を再び演奏し歌い継ぐ」考えのもと、第30回記念定期演奏会で委嘱初演し好評を博した『西湘の風雅』を演奏します。これまでに多田武彦先生には4つの作品を委嘱いただきましたが、小田男にとつて、この『西湘の風雅』は先生の第1曲目の委嘱作品です。小田原ゆかりの詩人、大木惇夫でもあり馴染みの地名などが詩に詠われるこの作品は、私達にも楽しんでいただけたらと思います。曲目解説もご覧いただければと思います。

今年地元「小田原地域」に根ざした活動が多い年でした。4月は「南エコーコーラス50周年記念演奏会(第17回定期)」にお招きをいただきました。6月には小田原市のアメリカでの姉妹都市「チュラビスタ市からの訪日使節団、歓迎レセプション」。そして、10月には「生命の星・地球博物館、来館者500万人達成記念祝賀コンサート」がありました。昨年は日本男声合唱協会(JAMCA)北海道演奏会で札幌遠征がありました。今年はまだ地元に根を張った活動が中心でした。

なお、来年は4月27日に、ここ小田原市民会館において神奈川男声合唱協会(KAMCA)第10回記念演奏会が開催されます。県内の12団体、約400人が一同に会し、それぞれの単独演奏と合同演奏の企画が進められています。合同演奏の指揮者には、外山浩爾先生、桑原妙子先生をお迎えします。

今年のロンドンオリンピックでは、史上最多のメダル獲得数の日本選手の活躍が大きな感動をもたらしてくれました。「仲間を信じて」「チームの絆」等のコメント、特に団体種目での快挙には目を見張るものがありました。昨年の東日本大震災以降『家族』『仲間』との結びつきを大切にしたいという私たちの思いをさらに強めました。合唱も一種のチームプレイではないでしょうか。団員の心が一つになって素晴らしい音楽作りができればと常に思っております。そして、音楽・歌を愛する私にとって、今回のオリンピックでの一番の感動は、あの開会式でのポール・マッカートニーが熱唱した「Hey Jude」でした。私たち小田原メンバーの平均年齢を越えても、彼の若々しい姿・そのパワフルな歌声は、私に大きな勇気をくれました。小田原の50周年へ向け、「まだまだ私たちは若い、いつまでも歌う」そんな気持ちを抱きました(ちなみに、ビートルズのデビューから、今年はまだ50周年)。

ともあれ、50周年に向けての第一歩を踏み出した小田原の今年の演奏会をお聴きいただいたご来場の皆様にと「頑張っ

て歌い続けるぞ」という私たちの思いを感じていただければ幸いです。  
最後までになりますが、私たちの活動を支えてくださる多くの皆様に、感謝の言葉を述べご挨拶とさせていただきます。

# § プログラム

I Mass for three voices 三声のミサ より William Byrd 作曲 指揮 杉山 範雄

- 1 Kyrrie
- 2 Gloria
- 3 Sanctus
- 4 Benedictus
- 5 Agnus Dei

II 男声合唱組曲「西湘の風雅」 大木惇夫 作詩 多田 武彦 作曲 指揮 外山 浩爾

— 第30回 記念定期演奏会 委嘱作品 再演 —

- 1 酒匂川
- 2 野茨と蜜蜂の中へ
- 3 春来れば
- 4 風と葦切
- 5 赤き屋根
- 6 海音

休 憩

III 男声合唱による 旅立ちの歌

指揮 ピアノ 牛丸 紘一  
中根 希子

- |          |       |    |         |    |       |    |
|----------|-------|----|---------|----|-------|----|
| 1 旅立ちの日に | 小嶋 登  | 作詞 | 坂本 浩美   | 作曲 | 松井孝夫  | 補曲 |
| 2 贈る言葉   | 武田 鉄矢 | 作詞 | 千葉 正臣   | 作曲 | 牛丸 紘一 | 編曲 |
| 3 螢の光    | 稲垣 千穎 | 作詞 | スコットランド | 民謡 | 牛丸 紘一 | 編曲 |
| 4 旅立ち    | 石嶺 吾一 | 作詞 | 伊東 清邦   | 作曲 | 牛丸 紘一 | 編曲 |
| 5 ひとつの朝  | 片岡 輝  | 作詞 | 平吉 毅州   | 作曲 |       |    |

Trans.by 牛丸 紘一

IV 男声合唱曲「季節へのまなざし」 伊藤 海彦 作詩 荻久保和明 作曲

指揮 ピアノ 外山 浩爾  
中根 希子

- 1 ひらく
- 2 のびる
- 3 みる
- 4 ゆめみる

ご案内 神奈川男声合唱協会 (KAMCA) 第10回記念 小田原演奏会 2013. 4. 27(土) 14:00 ~

1995年小田原市民会館において第1回演奏会を開催、以降 隔年開催を基本に 県内各都市を回り、県立音楽堂・ハーモニーホール座間・横浜みなとみらい大ホール・茅ヶ崎市民文化会館・よこすか芸術劇場・川崎市教育文化会館・藤沢市民会館・横浜市民公会堂と演奏会を続けてきました。この度、第10回を記念し、小田原市民会館での開催です。

東京トロンボーン・横濱

男声合唱団ピエロ

座間男声合唱団

横浜国立大学がリーグ7'08合唱団

2月発売

マルベリー・メーラルクワイア

湘南男声合唱団

横浜グリーンクラブ

横浜並木男声合唱団

横浜さかえ男声合唱団

男声合唱団せみ

小田原男声合唱団 の各団による 各ステージ、

合同曲は、桑原紗子指揮 中根希子ピアノ 日本のうた

花 荒蕨の月 そららん草 最上川舟唄 おてもやん 故郷

外山浩爾指揮 男声合唱組曲 雨 より の演奏です。

雨の来る前 武蔵野の雨 雨の日の遊動円木 雨の日に見る 雨

## Mass for three voices 三声のミサ より William Byrd 作曲

ウィリアム・バード(1540頃~1623)は、エリザベスI世(在位1558~1603)の時代、(イギリス音楽史の黄金時代)に活躍し、文豪シェイクスピア(1564-1616)らと共に「黄金のエリザベス朝文化」を開花させた立役者のひとりである。チャペル・ロイヤル(王室礼拝堂)の少年歌手として、トマス・タリスに音楽を学んだとも言われている。1563年、リンドン主教座聖堂のオルガニストとなり、1570年にはチャペル・ロイヤルの一員に加えられた。そして翌々年には、彼が立った音楽的才能が認められ、チャペル・ロイヤルのオルガニストに任ぜられロンドンへと移っている。

1575年、かつての師であり、チャペル・ロイヤルの同僚となった40歳程年上のトマス・タリス(エレミアス哀歌など)と共に、エリザベス女王から楽譜印刷と販売の21年間に渡る独占権を与えられた。タリスと同様、バードは当時として珍しく80歳と高齢まで長生きをし、膨大な量の作品を残している。宗教合唱曲、世俗合唱曲、鍵盤曲、弦楽合奏曲など数々の分野を開拓し、イギリス・ルネサンス音楽のジャンルや様式の確立と展開に主導的な役割を果たした。バードは200曲ものぼる数多くのモテテ集を作曲しているが、同じラテン語による作品でも、ミサ曲は三曲しか残されていない。いずれも印刷譜として現代に伝承されており、1590年代の前半には、四声、三声、五声の順に初版が出版されている。しかし、当時のイギリス音楽界の頂点を極めたバードも、カトリック教徒であったため、その生涯は平穏とはいかなかった。当時のイギリスの宗教事情は複雑な状況にあり、宗教改革を経て英国国教会というプロテスタントに転じたばかりで、カトリック教徒は敵国スペインに通じている恐れもあり、弾圧されていたのである。バードはそれ以外のエリザベス女王の庇護を受けて辛うじて王室の職に留まる一方、異端の烙印を押された。当局からマークされていたのである。しかし、バードの信仰は筋金入りであり、晩年は田舎のカトリック貴族の館で秘かに行われるミサに通ったといわれている。イギリス国教会の首長エリザベス女王の王室礼拝堂を指導するバードが、英語のテクニクによる国教会用作品をさしおいて、公然とラテン語による「カトリック音楽」、ミサ曲とモテテを次々に刊行できたのは、当時の社会は礼拝におけるラテン語にはかなり寛容であったと想われる。カトリック信者の作曲家バードにとつて、小規模なモテテばかりではなく、カトリック音楽の中心的存在であった多声の「ミサ曲」は信仰的にも、音楽家としても、最も魅力のあるものであったと想われる。

〔季刊誌 ハーモニー 等より〕

## 男声合唱曲 「西湘の風雅」 大木 惇夫 作詩 多田 武彦 作曲

男声合唱曲『西湘の風雅』は、小田原男声合唱団の第30回記念定期演奏会の委嘱作品として、作曲家・多田武彦先生によつて、詩人・大木惇夫の処女詩集『風・光・木の葉』(大正14)、第二詩集『秋に見る夢』(大正15)の中から6篇が選ばれた。詩人・北原白秋と大木惇夫の接点が大木惇夫の小田原であったことは知られているが、大木惇夫は既に東京立広島商業高等学校当時、白秋の詩集『思い出』を読み、私淑していた。初恋人・川上慶子との出会い、別れ、再会、結婚の中で肺結核を患う妻のために、新聞小説の挿入選を機会に文学活動と転地療養の地として小田原を選び、である。白秋は既に小田原に在住し、再び旺盛な文学活動の拠点としていた。童謡雑誌『赤い鳥』の編集もその一つである。大木惇夫は、一年後、その白秋を訪ね知遇を得、白秋が鬼籍に入らぬ昭和17年11月まで、強い絆の師弟関係が続くのである。処女詩集『風・光・木の葉』は、白秋の序文を得て出版されたのは当然である。白秋の友人、木下孝太郎は拜呈された詩集の序文の肩に「コノ序文ガナカツタラモツト好イ詩集トナツデアアラウ」と李太郎一流の辛口メモを残している(神奈川県近代文学館所蔵)。発刊当時の雰囲気は伝えていないであろうか。

「酒匂川」妻・慶子を亡くした5年後の詩集『冬刻詩集』(昭和13)の詩「風を愁えて」に「酒匂川、森々(べうべう)たりや、/わが夢は風を愁えて/湘南の水を離れず、/あひひはで幾日過ぎ來し」とある。大木惇夫にとつて「酒匂川」は、妻・慶子に重なる重要なモチーフであり、石を投げる行為は、妻の不治の病に対する悲しみの表象であろう。

「野茨と蜜蜂の中へ」詩集『殉愛』(慶子よおまえを歌った)(昭和40)は、妻・慶子の思い出のために既刊の詩集の中から選んだ詩をまとめたものである。その第五部「野あそび」に収められている。小田原時代がいかにかに充実し、二人にとつてかけがえのない時間であったことが読み取れる。詩集『殉愛』には、「在りし日の慶子」の写真が掲載されている(プログラム表紙参照)。

「春来れば」大木惇夫が大磯の「鳴(みづ)立つ庵」に立ち寄った時の印象を思い出ししている一篇。西行法師への挨拶をかねて「春来れば鳴立庵の磯寺の潮のかをりのそぞろしのばゆ」の短歌を詩の冒頭に置いている。大木夫妻にとつての春とは、妻・慶子の病気の全快であり、そのことを秘かに磯砂に筆草で記すことにより祈ったのであろう。

「風と葦切」大木惇夫が初めて白秋に会った時に持参した草稿の中の一篇であろう。白秋の知遇を得た後、全ての詩を没にし、改めて詩作を始めている。しかし、草稿の中から棄て難い十三篇の詩を残し「昔日の歌」章としてまとめている。風鳴琴はエオリアンハープのことで、共鳴板に多数の弦を張り風を吹かせる所を置いて和音を築きむものである。「ひろごり、ほそり、絶え、つづく」慶子への想いを風鳴琴の音に託したのであろう。「風」は慶子であり、「葦切」は惇夫自身であろう。

「赤き屋根」白秋は「木兎(みぎ)の家」の隣に3階建洋館を建て、本格的に小田原での文学活動を始める。大正10年4月に生涯の伴侶となる佐藤菊子を迎え、白秋が望んでいた生活が始まる。翌年3月、長男隆太郎の出産を控え慌ただしい白秋邸に大木惇夫は訪問するのである。一度は面会を断られるが再度門をたたき、何らかの偶然が作用し面会を許されている。一篇の詩「小曲」を見つけた白秋は、その夜遅くまで詩談に花を咲かせたということである。大木惇夫の思い慣れた白秋山荘への道が「野茨の道」として小田原の文学散歩道の一つであることは、市民の誇りである。

「海音」大木惇夫は白秋が鬼籍に入つた二日後、東京新聞紙上(昭和17.11)で次の様な追悼文を書いている。「(略)漂白のおもひとどめ難く、自分が博文館を辞して、小田原に仮寓した頃のことであつた。一卷の草稿以外には無一物であつた自分に、かくも深い愛情と敬意をこめて説き、自分が詩を以て立つ決意を促してくれた一むしろ強いてくれた先生こそ二つなき恩人である(略)」大木惇夫自身の漂白する青春を詠んだ詩であろう。「友よ」と呼びかける対象は、海を隔てて米国に住み、後の妻となる慶子自身でもあるかもしれない。また、文学の道を目指し上京する自分自身への固い決意かもしれない。

北原白秋は1200とも言われる童謡作品のうち、代表作を含む半分の600作品を「小田原時代」の8年余(1918~1926)に創作している。「赤い鳥小鳥」「砂山」「からたちの花」「この道」「揺籠のうた」「かやの木山の」「すかんぼの咲くころ」「べちカ」「待ちぼうけ」「あわて床屋」などの代表作はほとんど小田原時代に作られている。大きな足跡を残した白秋が、享年57歳で鬼籍に入つて今年で70年をむかえる。

〔文責 B1 伊東 清邦〕

## 旅立ちの歌

このステージは「旅立ちの歌」と題して卒業式で歌われている曲を中心に選び構成した。卒業式ソングと言えれば60年代以上の世代では「仰げば尊し」と「蛍の光」が定番ではあったが、これらの曲は昭和40年代以降次第にマイナーな存在になり、代わって卒業式の時期に流行し、若者達の心に響くJ-popが歌われるようになってきている。卒業式ソングについて本年のオリコンのランキングでは若い世代で、1. 旅立ちの日に(合唱曲)、2. YELL(いきものがかり)、3. 桜(こぶくろ)、4. がべスト3で、全世代対象にした場合には、1. 卒業写真(松任谷由美)、2. 贈る言葉(海援隊)、3. 卒業Graduation(菊池桃子)がランキング上位に上っている。皆さんはどのような曲を歌って卒業されたのであろうか。今回は多くの世代をカバーするように「旅立ちの日に」「贈る言葉」「蛍の光」を選び、また、オリジナル曲として当団員の手になる「旅立ち」(以上4曲は筆者の編曲)、並びに中学校以上でしばしば卒業式で演奏される旅立ちの名曲「ひとつの朝」を選んでみた。

### 1. 旅立ちの日に

若い世代に圧倒的な人気のこの曲は、1991年、埼玉県秩父市立影森中学校の小嶋登校長が「世界にひとつしかない曲を生徒に贈りたい」という動機で作詞し、同校の坂本浩美教諭(音楽)が作曲した曲で、後に小・中学校の教科書に収載され全国的に歌われるようになった。多くの歌手がカバーしているが中でも2007年にSMAPがCMで歌い人気に拍車をかけた。今回は音楽之友社に特別の許諾を得て男声四部合唱に編曲して演奏する。

### 2. 贈る言葉

この曲は1979年から始まった「金八先生」(武田鉄矢主演)のドラマの中で海援隊が歌い、一世を風靡した曲でご存知の方が多くと思う。翌1980年3月から各地の卒業式で歌われ始め、1980年以降最も頻繁に歌われた曲であろう。本年の卒業式ソングランキングでも依然2位の人気を誇っている。

### 3. 蛍の光

「仰げば尊し」と明治時代から卒業式の定番だったこの曲も、現在では商業施設やイベント会場の閉店の曲と認識されているようである。蛍雪の功という言葉も遠くなったのであろうか。原曲はスコットランド民謡「Auld lang Syne」なる曲で、明治10年代初期に国文学者の稲垣千穎がこの曲に独自の詞をつけ、今日まで歌い継がれている。

### 4. 旅立ち

この曲は当団員の伊東清邦氏の手になる作品である。伊東氏は元小学校の教諭で30年程前から「子どもたちと一緒に歌える歌」と多くの曲を作ってきた。その歌は今でも卒業生の間で歌い継がれているという。この曲は昭和50年代後半、石嶺吾一さん(当時沖繩の小学生)の詩に出会い作曲された。

### 5. ひとつの朝

作曲者の平吉毅州(1936～1998)は東京藝大出身の作曲家で管弦楽曲、ピアノ曲にも作品があるが合唱作品が多い。この曲は昭和53年NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部の課題曲として作曲され、日本の合唱名曲100選にも選ばれている代表作である。自由を求めて新しい世界へ旅立つ想いを明るべく、熱く、力強く歌い上げられている。

[ 文責 T2 牛丸 統一 ]

## 季節へのまなざし

伊藤海彦 作詩 荻久保和明 作曲

「季節へのまなざし」は昭和53年度芸術祭参加作品として、NHKの企画で作詩を伊藤海彦氏、作曲を荻久保和明氏に委嘱され誕生した。荻久保和明氏(1953～)は昭和51年に「2つのオーケストラのためのレイダース」で、第45回毎日音楽コンクール部門で1位を受賞した当時の新進気鋭の作曲家で「季節へのまなざし」は氏の25歳の作品である。高校時代より合唱に親しみ東京藝大卒業後、作曲家としての活動家としての活動家も多く「縄文」「IN TERRA PAX」等30数曲の作品があるが、「季節へのまなざし」は代表作と目され日本の合唱作品100選に選ばれている。混声合唱として作曲されたこの曲は斬新な音楽性で多くのファンを魅了し一世を風靡した。

平成7年に作曲者により一部手が加えられ男声四部合唱として出版された。作詩の伊藤海彦氏(1925～1995)はNHK専属の放送作家、詩人(後にフリー)として活躍、芸術祭賞等の受賞歴がある。「季節へのまなざし」の他に「島よ」(大中恩)「蝶」(中田喜直)等の合唱作品の作詩者としても知られている。この曲が出版された時に作詩者、作曲者は次のようなメッセージを寄せているが、その中に曲の本質が語られている。

作詩者は「…最初、演出の岡弘道さん(NHKプロデューサー)から四季の歌を作りたいと言われた時に大いに乗り気だったのが、さて改めて考えるところになかった。始めに私に浮かんだのは「色彩」だった。それぞれ別の季節の主題となる色彩によって私たちの国の微妙な四季を歌おうと考えた。(略)、この作品で私はこれまでに絶えず繰り返している「見る」ことの喜びと「見えないもの」の発見を歌っている。だがそれだけでは足りない。[見えにくい影の部分]の恐れしさを「見えてくる」ことの不幸にも触れている。見るという行為が本当に実るためには、この自然がある。取り巻いている外の世界を見ることによってのみ、私たちはそれぞれその季節の意味を知ることができると思う…」

作曲家は「昭和53年の初夏、僕は一つの合唱曲を完成し一つあった。それは感覚的に「ビートルズ以降」の音楽に属するものであった。シンコペータードされたリズム感、パワフルなビート感、ナイーブな叙情性をもった音たち、ハモニーの中に織り込まれた線。そういったものが真に我々の時代にピッタリなものとして正にそこにあるように書いてみたかった。しかも歌った後にズッシリと手応えのあるような作品をと、いつも念じながら書き進めていた。移りゆく自然の、その中に生きている我々の背後に潜む「見えない世界」、それが何か、我々青春を生き進めていることにとって永遠に問い続けなければならぬ謎を、僕なりに描いてみたかった。…」

曲は四季を表す「ひらく」「のびる」「みる」「ゆめみる」の4部作からなり、自然の四季の移ろいを歌いながら、それを「見る」「見る」「見えないもの」への恐れが曲間に散りばめられている。

I 「ひらく」春、風が立ち「見えない世界」から鮮やかな色彩を帯びた世界が「見えてくる」それをみることの喜び。  
II 「のびる」夏、陽ざしが弾け青い彼方に勢いよく伸びる草木。彼方の向こうに見えてくる自分、彼方の向こうの見知らぬ自分。

III 「みるる」秋、ひらき、伸びたまままな命は重く実る。人の心にも見えない実り。

IV 「ゆめみる」冬、冷え冷えとした雨、木枯らしの中に全ては休止する。

人はこもりやがて来る日をゆめみる。

[ 文責 T2 牛丸 統一 ]



外山 浩爾 音楽監督 / 常任指揮者

外山国彦を父に、雄三を兄の音楽一家に生まれ、幼少より音楽教育を受ける。東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業後、直ちに同大学及び同附属音楽高校で教職に就く。傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「森の歌」「ドイチチエス・レクイエム」等の一方、父親譲りの合唱啓蒙運動に参画、世界合唱連合(現IFCM)の長期テレビ委員、東京都合唱連盟理事長、全日本合唱連盟副理事長等を歴任。殊に明治大学グリーククラブをウイーン音楽祭で銀賞にまで育て、個人として明治大学特別功労賞第1号に輝く。現在も国内外の現代合唱作品の新作初演等の活動を続けている。

教育活動では、東京藝術大学附属高校副校長をはじめ東京藝術大学、鳴門教育大学、兵庫教育大学連合大学院教授、聖徳大学大学院教授、全日本音楽教育研究会副会長等を歴任し、文部大臣より教育功労表彰を受ける。1996年小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任。

現在、全日本音楽教育研究会大学部会常任理事、東京藝術大学音楽学部同声会副会長、(社)全日本合唱連盟名誉会員、日本合唱指揮者協会、NHK全国学校音楽コンクール審査員、板橋区混声合唱団、世田谷区合唱連盟主宰合唱団ラディアイータ、葛飾区民合唱団、共立女子大学合唱団等の指導にあたる。



杉山 範雄 指揮者 / ヴォイス・トレナー

小田原出身。10歳より小田原少年少女合唱団に入隊、ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・ア・サンブルを学ぶ。湘南工科大学附属高等学校、東京藝術大学音楽部声楽科を経て、これまでに、「コン・ファン・トゥッテ」「ドン・アルフォンソ」「魔笛」グラストロ、「カルメン」エスカミリーヨ、等を演じ、クープラン「聖スザンナのモテット」、バッハ「カンタータ」・「ヨハネ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、「カルミナ・ブラーナ」等、演奏会バスのソロにて多数出演、小泉ひろし、小林研一郎、飯森範範等、各指揮のもとソロパートを務める。

コロ・しるふれい、金沢混声合唱団、In Pace、栄女声合唱団、ぶどうの会、鎌倉市民混声合唱団、北鎌倉女声合唱団、アンサンブル萌、等の常任指揮者を務める。サウンドブリッジ合唱団、JVC合唱団、小田原男声合唱団、ユロー・フォーレスタ、桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」、明治大学グリーククラブ等でも、指導・ヴォイス・トレナーを務めている。読売文化センター、さがみ・コミュニケーションホール文化事業やさしい合唱講座、等講師。

声楽を多田羅迪夫、桑原妙子の各氏に師事。神奈川県合唱連盟理事。2010年小田原男声合唱団の指揮者に就任。



牛丸 紘一 指揮者

小学校の頃より器楽合奏部・吹奏楽部に入り音楽に親しんでいたが高校で合唱で合奏に出会い、以後今日に至るまで「合唱命」の生活を送る。高校の恩師により合唱指揮と和声の指導を受けて指揮を始める。大学時代は母校金沢大学合唱団の指揮者を務めて学生生活の大半を部室で過ごした。卒業後は京都に製薬会社に入社勤務の傍ら、京都で最も伝統のある京都混声合唱団に入団、副指揮者・指揮者を務めた。この間、京都市交響楽団との協演の機会には、バツハの「マタイ受難曲」、ハイドンの「四季」、ベートーヴェンの「第九」、モーツァルト、ドボルザーク、ヴェルディ、フオーレ、デュルフレの「レクイエム」、メンデルスゾーンの「エリア」、マラーの「復活」、ラベルの「ダフニスとクロエ」等の合唱指導を担当した。また、自社合唱団を率い、産業人合唱コンテスタや音楽祭等で優秀な成績を収めたほか、女声合唱団等の指揮者としても活躍した。1995年、転勤により小田原へ移住し当団に入団、2005年より団内指揮者を務めている。

合唱曲の編曲にも意欲を示し、第36回定期演奏会では「千の風になつて」を男声合唱に編曲、アンコールにて披露し好評を博した。今回、「旅立ちの歌」の選曲、ステージ中の4曲を編曲した。

星旭、中村外治、青山政雄、蔵田裕行氏に指導を受ける。



中根 希子 ピアノ

平塚江南高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第4回かながわ学生音楽コンクール入賞、県市長会会長賞受賞。第48回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第3回長江杯国際音楽コンクール第2位。ウィーン、シカゴ等での音楽セミナースタークラス参加、ドイツロママ取得、修了演奏会に出演。1999年東京都庭園美術館コンサートでは、若手実力派演奏家として毎日新聞に掲載。同年、ポーランド共和国大使館後援「日本ポニーランド国交樹立80周年記念および国際シヨパン記念演奏会」に出演。2000年「ピアノ名曲集」のCDを発売。小田原市記念事業製作の新童謡CD全3作収録参加。2007年小田原市民劇場、小林研一郎指揮「市民による第九演奏会」、2008年小林研一郎指揮「モーツァルトレクイエムニ短調」、2009年末廣 誠指揮「市民による第九演奏会」、2010年広上淳一指揮「市民によるオペライ・ガラ・コンサート」、2011年富澤 裕指揮「市民によるフォーレ：レクイエム」、2012年広上淳一指揮「市民によるブラームス、ドイッ・レクイエム」、2013年山田和樹指揮「市民によるメンデルスゾーン、讃歌」のピアノアシスタントを務める。他方、2009年4月ウィーンフィルメンバー・シュトイデ弦楽四重奏団と共演し好評を博す。国内外のリサイタル活動はもとより、歌曲、合唱伴奏初演、室内楽等の演奏会やレコーディング、FMおだわらの出演等幅広く活躍。また2010年8月「白秋・耕筥を歌い継ぐコンサート〜大谷列子さんを囲んで〜」では白井英治・白井彩各氏とトリオを好演。2012年9月中根希子リサイタルでは生誕150年を記念しドビュッシー、リストを演奏、大好評を博し聴衆を魅了した。

これまでに植田克己、佐藤俊、ノエル・フロレーレスの各氏に師事。

平成24年度(2012年)事業・今後の主な事業 等

(1) 2012.	1. 10 (火)	歌いはじめ	旭丘高校音楽室
(2)	2. 11 (土)	総会	小田原市民会館
(3)	3. 11 (日)	みんなで歌おう! 市民による トイツ・クワイム ～被災地に想いを寄せて～協力	小田原市民会館 大H
(4)	4. 15 (日)	南エコーコース 50回 記念定期演奏会 賛助出演	南足柄市文化会館 大H
(5)	6. 2 (土)	チユラピスタ市訪日使節 歓迎レセプション	江ノ浦 みのや新島
(6)	6. 3 (日)	第61回 湘南合唱祭	伊勢原市民文化会館 大H
(7)	9. 29 (土)	強化練習(合宿泊～9/30)	いこいの村あしがら
(8)	10. 7 (日)	入館者 500万人達成記念 祝賀コンサート	県立生命の星・地球博物館 エントランスホール
(9)	10. 21 (日)	第46回 小田原市民合唱祭	小田原市民会館 大H
(10)	11. 9 (金)	ゲネプロ	小田原市民会館 大H
(11)	11. 10 (土)	第41回 定期演奏会	小田原市民会館 大H
(12)	2013. 1. 8 (火)	歌いはじめ	旭丘高校音楽室
(13)	3. 17 (日)	みんなで歌おう! 市民による ヂテルソーン「讃歌」(指揮 山田利樹) 協力	小田原市民会館 大H
(14)	4. 27 (土)	神奈川男声合唱協会 KAMCA 第10回記念 小田原演奏会	小田原市民会館 大H
(15)	6. 2 (日)	第62回 湘南合唱祭	小田原市民会館 大H
(16)	7. 14 (日)	日本声楽協会 JAMCA 信州演奏会	長野県谷村文化会館 カラホール
(17)	10. 5 (土)	強化練習(合宿泊～10/6) 予定	いこいの村あしがら
(18)	10. 20 (日)	第47回 小田原市民合唱祭	小田原市民会館 大H
(19)	11. 16 (土)	第42回 定期演奏会	小田原市民会館 大H

第42回 定期演奏会 11月16日(土) 開場 14:30 開演 15:00 小田原市民会館 大ホール

予定曲目	5つのオアハケーニャによる憧憬	アカペラ	信長 貴富 編曲
	男声合唱組曲「雨」	アカペラ	多田 武彦 作曲
	男声合唱による アラカルト集	pf	
	男声合唱組曲「まぼろしの薔薇」	pf	西村 朗 作曲

団員随時 募集 !! いっしょに歌いましょう !!

年齢

どんな

団員

練習日

連絡先

高校生～80歳代と、幅広い年齢層です。再び復団された方もたくさんいます。高年齢の方でも大丈夫です。お気軽にお越しください。練習用CD等を用意しています。初年度、初めの方でも大丈夫です。お気楽にお越しください。400余名による合同曲も演奏できます。隔年の日本男声合唱協会、神奈川男声合唱協会の演奏会では、400余名による合同曲も演奏できます。小田原・真鶴・湯河原・伊東・南足柄・二宮・茅ヶ崎・藤沢・鎌倉・横浜・松田・小山・大井・中井・秦野・伊勢原・厚木・岡山県赤磐市と広範囲です。毎週火曜日 18:30～21:00 小田原 旭丘高等学校 (小原駅よりお城方面、徒歩5分) 鈴木壽久 TEL 0465(73)8328 岩越万里 TEL 0465(34)9177 青野幸夫 TEL 0463(87)2473

ワンステージ メンバー 募集 《2013.11.16 の 第42回定期演奏会で、一緒に『雨』を歌いましょう》

年齢 高校生～80歳代と、年齢制限はありません。初めての方でも大丈夫です。練習用CD等を用意します。どんな 男性で歌好きであればどうぞ歓迎です。初年度、初めの方でも大丈夫です。お気楽にお越しください。400余名による合同曲も演奏できます。練習日 火曜日 18:30～21:00 小田原 旭丘高等学校 (小原駅よりお城方面、徒歩5分) 12月より、月1回平均、10回程度(『雨』の練習日等の詳細は前掲連絡先まで) 演奏曲目: 男声合唱組曲『雨』多田武彦 作曲 費用5000円(月会費なし) 楽譜代は実費

委嘱曲 への歩み

2001年	第30回記念 定期演奏会 委嘱曲	初演	大木 惇夫 作詩	多田 武彦 作曲
	男声合唱組曲 「西湖の風雅」	(JAMCA 石川・銀 再演)		
2006年	第35回記念 定期演奏会 委嘱曲	初演	北原 白秋 作詩	多田 武彦 作曲
	男声合唱組曲 「冨寒小景(ごかしりけり)」			
	男声合唱のための 宮崎駿アニメ映画音楽集	初演	中川 季枝子 作詞	久石 譲 作曲
		編曲	覚 和歌子 作詞	木村 弓 作曲
		初演	中川 季枝子 作詞	久石 譲 作曲
		編曲	信長 貴富 編曲	
2008年	第37回 定期演奏会 委嘱曲	初演	大木 惇夫 作詩	多田 武彦 作曲
	男声合唱組曲 「大木惇夫の詩から・四季點綴(しまていてい)」	(JAMCA 銀にて)		
	5つのオアハケーニャによる憧憬	編曲	信長 貴富 編曲	
2009年	第38回 定期演奏会 小田原地区合唱連盟40周年記念 委嘱曲	初演	信長 貴富 編曲	
	男声合唱とピアノのための「赤い鳥小鳥」-北原白秋謹識集-			
2011年	第40回 記念定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 札幌にて)	三好 達治 作詩	丸山 薫 作曲
	男声合唱とピアノのための「わが詩友」		三好 達治 作詩	信長 貴富 作曲
	男声合唱組曲 「達治の旅情」	初演		多田 武彦 作曲

# 小田原男声合唱団 メンバー

T1	T2	B1	B2
福嶋 修 36(小田原市)	青野 幸夫 39(秦野市)	青野 正純 41(小田原市)	井上 忠彦 41(小田原市)
西山 廣木代 35(二宮町)	佐藤 精孝 29(二宮町)	下村 興毅 41(小田原市)	坂口 宗夫 41(小田原市)
日置 達男 33(小田原市)	福井 隆 29(二宮町)	伊東 清邦 37(秦野市)	赤川 軍一 24(伊勢原市)
斎藤 惠司 31(伊勢原市)	宝子山 尚生 21(小田原市)	小澤 一 37(小田原市)	一色 義信 22(秦野市)
加藤 重喜 22(秦野市)	李中 勉 21(秦野市)	江川 卓男 20(鎌倉市)	桑原 敏雄 21(大井町)
佐野 惠 16(剛山 緑市)★	杉本 健二 20(南足柄市)	奥津 光隆 16(真鶴町)	原 誠 21(南足柄市)
諏訪部 清 9(中井町)	牛丸 紘一 17(小田原市)	湯川 裕光 16(小田原市)	田島 達也 20(南足柄市)
堀内 哲夫 9(小田原市)	山田 允彦 9(茅ヶ崎市)	岡部仁之助 15(秦野市)	古林源次郎 14(二宮町)
水城 高嶺 6(秦野市)	伊藤 甲一 7(松田町)	菊池 義彦 14(小田原市)	近藤陽一郎 10(二宮町)
望月 信夫 5(小田原市)	吉本 隆一 6(小田原市)	高橋 茂樹 11(小田原市)	鈴木 壽久 10(南足柄市)
井本 博也 5(秦野市)	山本 洋之 4(小田原市)	熱田 隆純 11(南足柄市)	曾我 重康 6(小田原市)
河田 一男 3(伊東市)	鬼澤 正純 3(藤沢市)	西山 隆行 9(秦野市)	木村 昌彦 5(茅ヶ崎市)
		見尾田博樹 9(小田原市)	磯田 幸男 2(小田原市)
		岩越 万里 4(小田原市)	大淵 覺 2(横浜市)
		大塚 常昭 4(小田原市)	柳田 圭一 2(湯河原町)
			笠原 紘 2(小田原市)

★ 団友

## 音楽監督

常任指揮者

外山 浩爾

指揮者

ヴォイストレーナー

杉山 範雄

ピアノリスト

中根 希子

## 運営スタッフ

団 長 斎藤 恵司

副 団 長 青野 幸夫

団内指揮者

牛丸 紘一

技術部長 牛丸 紘一

事務局長 岩越 万里

財政部長 佐藤 精孝

渉外部長 杉本 健二

団員部長 鈴木 壽久

情報部長 加藤 重喜

事業部長 青野 幸夫

## 演奏会スタッフ

委員長 青野 幸夫

事務局 岩越 万里

会 計 佐藤 精孝

伊藤 甲一

各パートマネージャー

各パートリーダー

演出 杉本 健二

渉外 加藤 重喜

写真 杉原 由一

舞台 鈴木 壽久

打上げ 青野 幸夫

チアプロ 日置 達男

ライブラリー 加藤 重喜

アウンス 石崎 雅美

受付 前エコーコーラス

市レセプションリスト